

日本大学医学部東洋医学講座

1. 講座の沿革

当講座は、平成12年1月より株式会社ツムラによる寄附講座として、日本大学医学部臨床教育棟5階に開設された。同年4月より、兼任部長・荒川泰行、科長・大久保仁、外来医長・矢久保修嗣、木下優子の体制のもと、科長以下3人の医師により附属板橋病院にて東洋医学科外来診療を開始した。

平成5年より附属練馬光が丘病院東洋医学外来において、練馬区の招請により中国人の中医学医師による診療が行われていたが、平成15年を2月より、その診療を当講座が引き継ぐこととなった。同年4月より室賀一宏医師が、7月より上田ゆき子医師が、当講座に非常勤医師として加わり、平成16年4月より、横瀬友好医師が加わった。

平成17年1月に、大久保仁が退職し、同年3月より小泉久仁弥医師、4月より種倉直道医師が非常勤医師として外来診療に加わった。7月より板橋病院東洋医学科は科長・矢久保修嗣、外来医長・木下優子となった。12月末をもって横瀬友好が退職し、次年度より非常勤医師として外来診療に参加する。

2. 人員の構成

教授（兼任）	荒川泰行
助教授	大久保仁（～平成17年1月退職）
助手	矢久保修嗣
助手	木下優子
助手	横瀬友好（平成16年4月～平成17年12月退職）
非常勤医師	上田ゆき子（平成15年7月～）
非常勤医師	室賀一宏（平成15年4月～）
非常勤医師	小泉久仁弥（平成17年3月～）
非常勤医師	種倉直道（平成17年4月～）

3. 診療について

月曜日～金曜日の午前・午後、土曜日午前（7～8月は病院が土曜日休診）附属板橋病院東洋医学科外来において、2つの診察ブースを使って2人の医師による診療を行っている。漢方薬による治療はエキス剤を中心に行っており、生薬による漢方治療の患者も増加してきている。

悪性腫瘍患者の疼痛管理を行う緩和ケア・チームに木下優子は所属し、病棟における悪性腫瘍患者の疼痛軽減やADL向上などに対して、漢方薬による治療を行っている。

また、平成5年6月に東京都練馬区の要請と後

援によって中華人民共和国より中医の専門医師（中日友好医院）を招聘して、日本大学医学部附属練馬光が丘病院内科に「漢方専門外来」を設置し、月・水・金曜日の午後に診療が行われていた。平成15年を2月より、中医医師が診療を終了することになり、その診療を当講座が引き継ぐこととなった。現在は、附属練馬光が丘病院では東洋医学外来の診療を、水・金曜日の午後に生薬を用いる診療を中心に行っている。

4. 教育について

(1) 卒前教育

本学4年生に対しては、以前よりブロック講義『肝胆脾疾患』において東京女子医大教授・佐藤弘先生に“肝疾患に対する漢方治療”について、講義（2コマ）を行っていただいている。

当講座発足後の平成13年度より、6年生を対象とした『医学医療総論』において、系統的な東洋医学の講義（5コマ）を行うことが可能となった。平成17年度は、“漢方医学と西洋医学の相違と漢方医学的治療特徴”について矢久保修嗣が担当し、“漢方医学的病態認識の基礎理論”については室賀一宏が、そして、“漢方医学的診断と病態解析の実際”と“漢方医学的治療の実際”に関しては木下優子が講義を行っている。その他、当講座のスタッフではないが、日本東洋医学会会長、昭和大学客員教授・石野尚吾先生に“鍼灸治療総論”と題して、実習も交えて講義を行っていただいている。なお、この授業の後に、医師国家試験形式の試験が行われる。

平成15年度より、本学1年生を対象として『医学序論』において、木下優子が漢方医学に関して“東洋医学の現状と将来”（1コマ）を担当するようになった。

平成17年度より、6年生を対象とした『PMP-CC (patient management problem core curriculum)』において“緩和医療”に関する講義の中で、木下優子が漢方治療の果たす役割について、講義（2コマ×90分）を行うようになった。

4月初旬より連日7週間にわたる6年生の『自由選択学習(エレクトティブ)』のために準備を行っていたが、同じく平成17年度より、学生の募集を初めて行った。この授業はごく少数の学生を対象として、連日、医局や研究室においてその活動を実践させ、講義だけでは得られないような経験を得ることを目的としている。今回は、我々も初めてであったので定員2名としていたが、4名の希

望があったため、4名全員を受け入れた。和漢診療学に関するテキストを学びながら、外来において脈診、舌診、腹診などの臨床実習を行った。次年度より、定員を4名として、募集する計画である。

(2) 学生のサークル活動

東洋医学・漢方医学に対して興味を持っている学生のサークル(TF研)があり、彼らの学習に対する助言、支援、指導を。木下優子が中心となっていて行っている。

(3) 卒後教育

平成17年度には、初めての研修希望医師を受け入れ、3ヶ月間ではあったが外来に於ける漢方診療の臨床を経験してもらった。

現在、研修医師を受け入れる際のマニュアルの作成を行っており、外来診療を見学し、漢方医学的診断学を学び、症例検討や古典などの抄読会や参加を計画している。

女性専門外来のニーズが高まっており、木下優子が女性専門外来における漢方診療の意義を講演などで積極的にアピールしている。この効果によって、いくつかの施設から女性専門外来を担当する医師、数名が当講座において研修を希望し、実際に板橋病院に訪れ東洋医学外来の見学を行っている。

日本東洋医学会は厚生労働省より専門医資格認定団体として認可され、平成17年8月9日より、日本東洋医学会認定漢方専門医の標榜が可能となった。当講座もこれに相応すべく、現在、日本東洋医学会に研修施設認定を申請している。

5. 講演会活動

漢方医学の普及、確立のため、自大学のみならず医師会の研究会、ツムラ主催の漢方入門講座、各種勉強会等においても積極的に講演を行ってきた。木下優子は女性専門外来における漢方医学的治療に関して、多くの講演を行っている。また、矢久保修嗣は腹診の教育において腹証モデルを使用して講演を行い、典型的な腹証所見を紹介している。

6. 研究

我々は、(1)漢方薬の薬効に関する臨床検査機器による評価、(2)漢方医学的所見の基準化・標準化と(3)新しい領域に対する漢方治療という3つの主要な目標をもって研究を行ってきた。今後も、このような方針に基づいて研究を継続していくことを考えている。

(1)漢方薬の薬効に関する臨床検査機器による評価

漢方薬は多数の生薬により構成されているが、それにはもっと多くの成分が含有されており、生体においてそれぞれの成分が、それぞれの作用器官で、それぞれの時相(時期)で、複雑な機能を発現しているものと考えられる。

葛根湯の自律神経系に対する作用

葛根湯内服後1.5時間に血中エフェドリン濃度のピークがみられることは、一般に知られている。エフェドリンは交感神経刺激作用をもっている。葛根湯内服後による1心拍毎の血圧、脈拍測定やこの変動により葛根湯の自律神経系に対する作用を検討すると、葛根湯内服30分に交感神経系の機能亢進がみられるところが観察された。これは、葛根湯内服後の血中エフェドリン濃度のピークと相違することを発表した(第58回自律神経学会2005,千葉)。

(2)漢方医学的所見の基準化・標準化

漢方医学でも患者の身体所見を臨床の現場でえることは重要である。特に、腹部の所見である腹証を得るために行う腹診は重要である。しかし、この腹証について、日本全国で基準化された標準化されたものはない。この腹証の基準化・標準化のための検討を行ってきた。

我々は典型的な腹証の教育を行うために腹証教育モデルの作成を行い、漢方医学の講演会など腹証学習の現場において、この腹証モデルを実際使用して講演を行っている。これは参加者の好評を得ており、これに関する参加者の感想や評価などをまとめている。

今後、この評価をまとめることや、腹証モデルの改良を計画している。腹部および腹部のいろいろな所見部位にあわせて硬度を変化することが可能な材料を設置し、遠隔操作によりその硬度を変化させるような可変型腹部シミュレーターの作成や、腹部動悸のような動きのあるものを表現できるような装置の組み込み、サーモトレーサーにより得られた腹部体表温の再現、これに加えて、医師により適切な部位が圧迫された際に出現する患者の"痛い"、"気分が悪い"、"不快"などの圧痛、不快感などの症状を表現するための工夫などを行っていきたい。

また、脈診に関しても同様なシミュレーターの作成を計画中である。

(3)新しい領域に対する漢方治療

a. Coxiella burnetii 感染症

Q熱の原因菌として知られる *Coxiella burnetii* による感染症に対する治療を担当しており、*C. burnetii* 感染については、厚生労働省より認可された高度先進医療として血清IgG抗体、IgM抗体、PCR法などの検査を行っている。*C. burnetii* 感染症

には、急性 Q 熱と慢性 Q 熱の病型が存在する。最近では、微熱、全身倦怠感などの慢性疲労症候群(CFS)類似の症状や、筋線維の間欠性攣縮なども伴うことのある Post-Q fever fatigue syndrome (QFS)が提唱されている。我々は、QFS および、QFS と類似している CSF、その他、発熱、全身倦怠感などの症状を呈する患者に対する漢方治療を行っている。

QFS は漢方医学的には、耐え難い疲労感、集中力と精神力の欠如などの症状からは気虚、持続的な頭痛からは気滞、理性を失った怒りは気逆、睡眠障害からは血虚と考えられ、補中益気湯、加味逍遙散による治療の適応と思われる。

反復する抗体検査を必要とした QFS 症例(板橋医師会医学会総会)や、筋線維の間欠性攣縮に対して芍薬甘草湯が有効であった QFS 症例(第 24 回日本大学東洋医学研究会 2005)にたいする症例報告を行った。

今後、QFS に対する漢方治療を確立するために、症例をまとめていくことを計画している。また、このような感染症に対する免疫システムと漢方薬の役割について研究を進めることを考えている。

b. 緩和医療における漢方医学的治療

緩和医療における漢方医学的治療や、悪性腫瘍患者に対する東洋医学的治療を行い、この領域において漢方治療の効果が示された症例についての症例報告を行ってきた。そして、これらの積み重ねにより、我が板橋病院の疼痛緩和マニュアルには、漢方治療が収載されるようになった。今後、これらの検討を進展させ、緩和医療における漢方医学的治療効果の検討や、悪性腫瘍患者に対する東洋医学的治療の臨床効果を検討していく計画である。

7. 啓蒙活動

一般市民を対象として、日本大学「漢方医学」市民公開講座を板橋区民会館大ホール(定員 1,200 名)において毎年 1 回開催している。この会そのものは日本大学医学部東洋医学研究会(代表世話人・荒川泰行)ツムラの共催であるが、この研究会の代表世話人は当講座の教授であり、我々、東洋医学講座が中心的な役割を果たしている。

平成 17 年 9 月 23 日(金曜日)12 時 55 分~15 時 30 分に、第 6 回日本大学「漢方医学」市民公開講座:シンポジウム「食養生と漢方」~日常生活で生かせる漢方知識~を開催した。座長・荒川泰行により基調講演「おいしい漢方食で身近な病気を治そう」-高血圧・リウマチ・美肌など- 根本幸夫先生(昭和大学薬学部講師・漢方平和堂)が

行われた。引き続き、講演 1 “丈夫な身体をつくろう” 木下優子、講演 2 “あなたの頭痛は大丈夫?” 前田浩治先生(本学関連東十条病院脳神経外科部長)、講演 3 “美しく歳を重ねるために” 横瀬友良、総合討論を矢久保修嗣の司会により進行的した。

その他、雑誌、テレビ等のマスメディアにおいて一般市民を対象として漢方医学の普及、啓蒙活動を行った。

8. 原著論文、総説、症例報告などの

- 1) 矢久保修嗣:高血圧と漢方 漢方と最新治療, Vol.14(1), 35-41
- 2) 木下優子:治療困難な症状に応用できる香蘇散, 治療, vol.87, 839-840
- 3) 木下優子:婦人科領域における実践漢方入門講座, 産婦人科漢方研究のあゆみ 22, 1-5
- 4) 木下優子:性差医学と漢方, MEDICAL PHARMACY, 2005.5 月号, 17-20
- 5) 矢久保修嗣, 他:これは便利!セルフメディケーションのヒント, じほう 2005.8.10
- 6) 矢久保修嗣, 木下優子, 横瀬友好, 室賀一宏, 荒川泰行:当帰四逆加呉茱萸生姜湯の末梢血流に対する作用, 漢方と最新治療, Vol.14(3)
- 7) 木下優子:女性の冷えに対する漢方治療, 産婦人科の実際 Vol.54 No.9, 1397-2005
- 8) 矢久保修嗣, 木下優子:漢方製剤 148 処方, じほうオリジナル薬剤師便利手帳 2006, 14-38, じほう
- 9) 木下優子:女性外来における漢方治療の学び方, 漢方と最新治療, 第 14 巻第 2 号, 159-162
- 10) 矢久保修嗣, 伊藤敦之:海上に於ける漢方医療の有用性, P&M Kampo 10(1), 4-10, 2005
- 11) 矢久保修嗣:”夏ばて”に対する漢方治療, P&M Kampo 10(2), 18-23, 2005
- 12) 矢久保修嗣, 高松潔:更年期の漢方治療, P&M Kampo 10(2), 24-33, 2005
- 13) 矢久保修嗣:カゼ症候群に対する漢方治療, P&M Kampo 10(3), 2-10, 2005

9. 学会発表など

- 1) 矢久保修嗣, 木下優子:薬物の新規モニタリング法の構築とその応用, 平成 16 年度日本大学薬学部学術フロンティア推進事業研究成果報告会, 2005.21-22, 日本大学薬学部分子薬学研究センター
- 2) 横瀬友好, 矢久保修嗣, 木下優子, 荒川泰行:情動ストレスによる血圧上昇に対する柴胡加竜骨牡蛎湯の効果, 第 56 回日本東洋医学会学術総会, 2005.5.20-22, 富山国際会議場

- 3) 木下優子, 矢久保修嗣: 予想外に消失する症状から考えること、予想外に残る症状から考えること, 第 56 回日本東洋医学会学術総会, 2005.5.20-22, 富山国際会議場
 - 4) 木下優子: 緩和ケアチームにおけるコラボレーション, 大学病院の緩和ケアを考える会, 第 11 回総会・研究会, 2005.6.4, 伊勢原市民文化会館大ホール
 - 5) 木下優子, 矢久保修嗣, 横瀬友好, 種倉直道, 荒川泰行: 高齢者消化器癌への漢方治療の応用, 第 30 回老年消化器病研究会 2005.6.3, ロイヤルパークホテル 2 階春海
 - 6) 木下優子: 口腔ケアの難しい患者の口臭対策でティートリーが有効であった 1 例, 第 10 回日本緩和医療学会総会, 2005.6.30-7.2, パシフィコ横浜
 - 7) 矢久保修嗣, 木下優子, 横瀬友好, 荒川泰行: 咬傷数年後に Q 熱と診断し得た 1 例, 第 10 回板橋区医師会医学会, 2005.9.24-25, 板橋区立文化会館
 - 8) 矢久保修嗣, 木下優子, 横瀬友好, 荒川泰行: Q 熱による手の硬直感に対して芍薬甘草湯が有効と考えられた 1 例, 日本大学東洋医学研究会第 24 回学術集会, 2005.10.21, 医学部第一臨床講堂
 - 9) 矢久保修嗣: シンポジウム自律神経と漢方 ~ 漢方薬・葛根湯の自律神経系に対する作用, 第 58 回日本自律神経学会総会, 2005.10.27-28, 京成ホテルミラマレ(千葉市)
 - 10) 木下優子: 緩和ケアに関する学生による臨床講義について(第 1 報), 第 29 回日本死の臨床研究会年次大会, 2005.11.12-13, 山口市市民会館, ばるるプラザ山口
10. 講演活動など
- 1) 木下優子: 伝統医学に学ぶ ~ 漢方の魅力と生活習慣病から治していく養生, 第 27 回養護教諭研修講座, 2005.1.6, 北海道自治労会館
 - 2) 木下優子: ストレスにまけるな! 漢方でみんな元気, 働く女性のための漢方セミナー, 2005.2.3, 広島国際会議場
 - 3) 木下優子, 更年期障害 ~ 女の更年期・男の更年期 ~, 第 14 回埼玉県医師会健康セミナー, 2005.2.12, 浦和コルソ 7 階ホール
 - 4) 木下優子: 漢方の基礎 疾患別処方解説, ツムラもてぎ漢方入門セミナー 2005.2.19-20, ホテルツインリンク
 - 5) 矢久保修嗣, 木下優子: うつくしま漢方入門セミナー, 2005.2.27, ホテルはまつ 2F メイフェア
 - 6) 木下優子: 性差医療と漢方, 第 31 回千葉東洋医学シンポジウム, 2005.3.27, ホテルサンガーデン千葉天平 4F
 - 7) 木下優子: より快適な治療のために 漢方をつかった補助療法, ナースセッションランチオンセミナー, 2005.3.9, 名古屋マリオット
 - 8) 木下優子: 女性外来担当医師に、これだけは知ってほしい漢方の基礎知識と患者さんの診かた, ツムラ東京支店女性外来担当医師のための漢方入門セミナー, 2005.3.5-6, 八重洲富士屋ホテル 2 階櫻東の間
 - 9) 矢久保修嗣, 木下優子: 概論(気・血・水) 病例検討会(性差医療), 北陸ステップアップセミナー, 2005.3.20, 金沢スカイホテル 10 階白山の間
 - 10) 木下優子: 女性外来スターターキット, 性差医療情報ネットワーク東京支部第 3 回学術講演, 2005.5.29, 株式会社ツムラ本社 1 階ホール
 - 11) 木下優子: 女性の不定愁訴と漢方, 宮城県女医会, 2005.3.17, 仙台国際ホテル 6 階楓
 - 12) 木下優子: ステップアップする処方, 女性外来の漢方薬の選び方, 第 1 回千葉・女性医療と漢方を考える会, 2005.3.12, ホテルサンガーデン千葉 3F 飛鳥
 - 13) 矢久保修嗣, 木下優子: 紀南漢方入門セミナー, 2005.4.17, ガーデンホテルハナヨ 1F ローズの間
 - 14) 木下優子: 愁訴に挑む漢方治療, 第 16 南部漢方学術講演, 2005.5.14, 八戸パークホテル 2F アジュール
 - 15) 木下優子: 不定愁訴の漢方治療, 沼田利根医師会卒後研究会, 2005.6.22, 沼田利根医師会
 - 16) 木下優子: 女性外来スターターキット, The East meets the West in Women's Healthcare, 2005.5.29, 株式会社ツムラ本社 1 階ホール
 - 17) 木下優子: 霧降高原漢方入門セミナー, 2005.7.23-24, メルモンテ日光霧降
 - 18) 木下優子: 性差医療と漢方, 石川漢方勉強会, 2005.6.25, スカイホテル 10 階白山の間
 - 19) 木下優子: 北陸漢方入門セミナー, 2005.6.26, 金沢スカイホテル 10 階白山の間
 - 20) 木下優子: ストレスと漢方治療, 渋谷漢方セミナー, 2005.7.6, セルリアンタワー東急ホテル
 - 21) 木下優子: 漢方医学入門セミナー in やまがた, 2005.7.10, パレスグランデール
 - 22) 木下優子: 痛みについて, 千葉・明日の女性医療と漢方を学ぶ女医の会, 2005.6.12, ホテルサンガーデン千葉 4F 白鳥

- 23) 矢久保修嗣：Kampo 医学へ Take off, 平成 17 年度郡山漢方研究会, 2005.7.13, ホテルはまつ 3F 左近
- 24) 木下優子：漢方概論、漢方実技, 女性外来担当の女性医師の為の漢方入門セミナー, 2005.7.16-17, リーガグランドホテル 3F エンパイアヤルーム
- 25) 木下優子：ストレスと漢方治療, 女性疾患を中心に 第 170 回東毛漢方研究会 2005.7.21, 太田市総合健康センター 3F
- 26) 矢久保修嗣：慢性疾患への Approach, 平成 17 年度郡山漢方研究会, 2005.9.14, ホテルはまつ 3F 左近
- 27) 木下優子：こまち漢方プレセミナー, 2005.7.30, 秋田県総合保健センター第一研修室
- 28) 木下優子：女性にやさしい漢方入門, 2006.1.14, ルミネ横浜 8 階
- 29) 木下優子：産婦人科領域における実践漢方入門講座, 漢方処方を使い方 加味逍遙散、牛車腎気丸を中心に, 第 25 回産婦人科漢方研究会学術集会, 2005.9.11, 都市センターホテル 3F コスモスホール
- 30) 木下優子：女性外来担当医師に、これだけは知ってほしい漢方の基礎知識と患者さんの診かた, 女性外来担当の女性医師のための漢方入門セミナー in Tokyo, 2005.9.17-18, 八重洲富士屋ホテル 2 階櫻西の間
- 31) 木下優子：漢方医学入門セミナー in 杜の都, 2005.10.23, かんぼヘルスプラザ仙台 2F 蔵王西
- 32) 木下優子：医師から見たジェンダー医療, 第 31 回千葉東洋医学シンポジウム, 2005.3.27
- 33) 木下優子：漢方概論、漢方実技, 女性外来担当の女性医師の為の漢方入門セミナー, 2005.6.4-5, SAPPORO すみれホテル 3F ヴィオレ
- 34) 矢久保修嗣, 木下優子：女性医師のための漢方セミナー, 2005.10.16, 大分東洋ホテル久住の間
- 35) 矢久保修嗣：漢方診断, 平成 17 年度薬剤師生涯学習講座, 2005.10.2, 明治薬科大学清瀬キャンパス講義棟
- 36) 矢久保修嗣：急性疾患を Kampo で Delete, 平成 17 年度郡山漢方研究会, 2005.11.9, ホテルはまつ 3F 左近
- 37) 木下優子：漢方処方の運用のしかた, 第 2 回漢方初歩講座, 2005.10.22, 八戸パークホテル
- 38) 木下優子：漢方概論、漢方実技, 女性外来担当医のための漢方入門セミナー 2005.8.6-7, 八百治博多ホテル
- 39) 木下優子：日常診療に役立つ漢方頻用処方の解説, 中越漢方学習会, 2005.9.27, ホテルニューオータニ長岡 3 階さくらの間
- 40) 木下優子：女性外来担当医師のための漢方フォローアップセミナー, 2005.8.28, ツムラ本社ビル
- 41) 矢久保修嗣, 木下優子：昭和大学漢方医学セミナー, 2005.12.3, 昭和大学 1 号館 5 階カンファレンスルーム
- 42) 木下優子：性差医療と漢方, 第 12 回岐阜東洋医学研究会, 2005.11.26, 岐阜会館
- 43) 木下優子：女性外来スターターキット続編, The East meets the West in Women's Healthcare, 2005.11.27, 女生と仕事の未来館
- 44) 矢久保修嗣：頻用処方解説 日常診療に役立つ漢方薬, 北陸臨床研修指導医セミナー, 2005.11.27, 金沢スカイホテル 10 階白山の間
- 45) 矢久保修嗣：第 40 回会津漢方研究会 効かせるための Kampo strategy, 2005, 12, 7, 会津若松センチュリーホテル
- 46) 木下優子：女性不定愁訴に対する漢方治療, 高知臨床漢方セミナー, 2005.12.10, 高知グリーン会館 2F グリーンホール
- 47) 矢久保修嗣, 木下優子：高知漢方入門セミナー, 2005.12.11, 高知会館 3F 弥生
11. 取材、監修など、その他
- 1) 木下優子：クロワッサン, 2005.1.25, 58
- 2) 木下優子：おいくらですか 花粉症本格治療したら, 朝日新聞 31, 2005.2.3
- 3) 木下優子：東洋医学で考える花粉症対策, 美感遊創, 2005.28, 9-10, 2005.1.1
- 4) 木下優子：漢方的促進法, きれいなからだ, vol.2, 51-58, 2005.3.5
- 5) 木下優子：ストレスと春のからだ 自律神経の変調に注意!, 春のけんこう, 3-6
- 6) 木下優子：冷え性 漢方は女性の健康をたすける, 93-107, 2005.2.24
- 7) 木下優子：スギを目の敵にしてもダメ。生活習慣を改めましょう, OISCA, 2005.3 月号, 14-15
- 8) 木下優子：女の更年期・男の更年期, 埼玉新聞, 5, 2005.3.8
- 9) 木下優子：毎日の食生活は健康の基本「食養」の考え方を知り食意識の改善を おふたいむ, No.32, 18
- 10) 木下優子：ドラえもんと呼ばれた医師の私が 15 キロやせ九号の服も余裕で着られる野菜食の威力, 安心, 2005.5 月号, 70-71

- 11) 木下優子：桜咲く春は...肌トラブルの季節です，ぶちとれ，2005.4.11
- 12) 木下優子：野菜たっぷりの「毒出し食生活」で医師は 15kg やせ色白美肌になり患者は 20kg 減，ゆほびか，2005.5月号，33-34
- 13) 木下優子：月経異常，レタスクラブ，2005.5.10，94
- 14) 木下優子：体調不良と解消すべく菜食に。すると心も体もすっきり，クロワッサン 2005.5.10，81
- 15) 矢久保修嗣：血栓 発掘！あるある大事典 II，2005.5.8，フジテレビ
- 16) 木下優子：漢方薬でやさしくダイエット，自然と健康，2005.6，40-43
- 17) 木下優子：毎夜、「的」を備えたバーで、ダーツに挑戦！，medical ASAHI，2005.7月号，109
- 18) 木下優子：予想外に残った症状には他の重大な疾患が潜むことも，MedicalTribune，2005.7.7，40
- 19) 木下優子：体にたまった毒素を排出して着実に減量でき、むくみ・動悸も解消する漢方薬，ゆほびか，2005.9月号，50-52
- 20) 木下優子：夏太り クリック！，2005.8.15，日本テレビ
- 21) 木下優子：漢方を自ら極め、用いる医師を増やし広めていきたい，JAMIC JOURNAL，2005.11，50-51
- 22) 木下優子：女性医師向けの漢方教育で全国行脚，MedicalASAHI，2005.11月号
- 23) 木下優子：モンゴル医薬学の世界，2005.11，出帆新社